



ソフト認定

ハード認定

オーベル藤が丘



ハード認定の概要

【耐震性】

令和元年竣工

【浸水対策】

浸水想定なし

【防災倉庫】

地下1階に防災倉庫を設置

【防災資機材】

ハロゲン式投光器、発電機、
救助用工具格納箱・救急セット、
マンホールトイレ 等

【その他】

マンホールトイレ用に、水栓付
き雨水貯留タンクを設置



▲防災倉庫



▲水栓付き雨水貯留タンク

ソフト認定の概要

【防災組織】

平時は管理組合の下部組織として災害対策チームを設置

震度6弱以上の地震発生時にエントランスホールに集合した方々で臨時災害対策チームを組織し、災害対策本部BOXを開封し初動対応

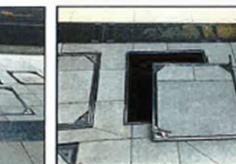
管理組合役員を中心とするメンバーがそろい次第、本部と3つの班で構成される災害対策チームに移行

【防災マニュアル】

居住者用、災害対策チーム用を兼ねたマニュアル。居住者、本部、各班の活動フロー、排水確認方法、使用再開までの手順等を掲載

【排水確認の方法】

1. 管理室のインターホンで、全住戸にトイレ及び水の使用を中止するよう呼びかけ。
(停電時は、メガホンなどで各住戸に呼びかけを行う。)
2. エントランス前の最終枠(下図赤丸)を開ける。開閉のための工具は、管理室にある。



3. 各系統の協力者(できるだけ上の階がよい)から、排水確認のためのボール(『通る君』)及び、水性絵具で着色した水を流す。連絡方法は、トランシーバーを活用する。
4. 最終枠で、流したボール及び色水が確認できるか観察する。
(ボールが出てこない場合、流れ切っていない汚物に引っかかっている場合がある。)
5. 排水が確認できた系統は、トイレ使用禁止を解除するが、暫定使用として、トラブルが発生した場合は、再度使用を禁止する。

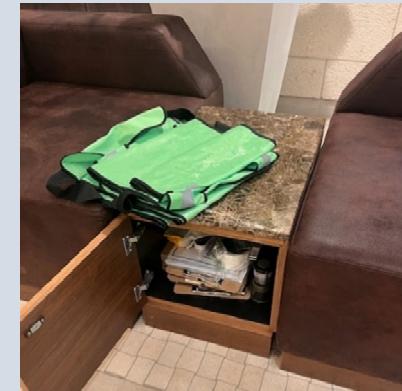
▲排水確認マニュアル(抜粋)

【防災訓練】

年1回、安否確認訓練、マンホールトイレ設置訓練、防災備品の確認を実施

【飲料水等の備蓄】

管理組合で飲料水12L/戸、携帯トイレ50回分/戸を備蓄のほか食料も含めた最低3日分の備蓄を各住戸に推奨



▲災害対策本部BOX